

## ▼ヒポカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 バルニジピン塩酸塩 barnidipine hydrochloride 【分類】 Ca拮抗薬

【単位】 ▼5mg・▼10mg/Cap

【常用量】 10～15mg/日 [初期量5～10mg]

【用法】 1日1回朝食後

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 ジヒドロピリジン系Ca拮抗薬。1日1回投与の徐放性カプセル。

【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー様症状、過度の血圧低下、肝機能障害、動悸、ほてり、消化器症状、頭痛、めまい、光線過敏症、女性化乳房など

【吸収率】 52.2% [ラット], 71.5% [イヌ] (1) 初回通過効果を受けるが、高用量では飽和する (1)

【F】 不明 (1)

【tmax】 0.5～2hr と 4～8hr の 2 峰性 (1)

【代謝】 肝臓で主に側鎖のエステルの加水分解及び1,4-ジヒドロピリジン環のピリジン環への酸化により代謝される (1) 代謝にはCYP3A4が関与 (1) 代謝物に活性はない (1)

【排泄】 尿中に未変化体は排泄されない (1) 尿中主代謝物はM-4 (1)

【t1/2】 9.4～11hr (1)

【蛋白結合率】 88.0～93.0% (1)

【Vd】 不明 (1)

【MW】 528.00

【透析性】 資料なし (1) 除去されないと思われる (1)

【O/W係数】 2000以上 [1-オクタノール/水系, pH7.0] (1) 【pKa】 6.99

【更新日】 20180410

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。